

原町市農業協同組合（JA原町市）



代表理事組合長	桑 折 董	役 員 数	24名
所 在 地	〒975 原町市錦町1丁目13	理事	20名（うち常勤 2名）
	☎0244-23-2611	監事	4名
設 立 年 月 日	平成2年3月1日	職 員 数	97名（男67名 女30名）
		臨時	8名

I 地区の概況

当地区は浜通り相双地区の中心に位置し、比較的平坦な水田単作地帯である。

気象条件は海洋性の温暖な気候で、降雪はほとんどなく農作物の栽培に恵まれた条件にある。

沿岸沿いの平坦部では、夏期は親潮海流と偏東風（ヤマセ）の影響を受け、比較的冷涼で冷害を受けやすい。冬季は降水量が少なく乾燥した晴天が多い。

交通はJR常磐線が南北に走り、更に国道6号線が南北に走り、北は仙台に75km、南は東京に290kmの地点にあり比較的恵まれた条件にある。

重要無形民俗文化財になっている相馬野馬追のハイライト神旗争奪戦が行われる雲雀ヶ原は中心市街の南西にあって、7月24日は大変な人出となる。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

当地区の農業は、太田川・新田川流域の比較的平坦な地形のため耕地の80%を水田が占め、戦後は米麦・大豆菜種等の輪作が大勢であった。その後、経営の多角化をめざし、養蚕、畜産、葉たばこ等を積極的に導入し農村らしく活気に満ちたものであった。

また、狭小の畑の高度活用から野菜の栽培も盛んで、小売り、行商から市場出荷へと発展する中で水田転作と相まって冬季温暖な気象条件を活用したパイプハウス利用の春菊、土地利用のブロッコリー等栽培が定着し、市内4農協の合併を機に真空予冷庫の導入をはかり、新鮮保持と流通の合理化に取りくんだ。

一方、農業をとりまく情勢は、所得倍増論による高度経済成長の影響で農村労働力は他産業に流出し、農村は担い手不足と高齢化・婦女子化が進み、加えて農業機械や除草剤の開発等がこれに拍車をかける結果となった。

工業化の発展はとどまるところを知らない輸出をし、農産物の輸入圧力を高め柑橘類・畜産物・米までが自由

化の荒波に放り出されてきた。

昭和40年から計画的に農業構造事業による諸施設の整備をすすめてきたが、更に、新しい技術と効率的な大区画整備による土地利用集積を図り、組合員とJ Aが機能分担をして、新たな挑戦を決意しなければならない時である。

2 農業協同組合の設立

J A 原町市の前身は、高平農業協同組合、原町信用農業協同組合、原町市太田農業協同組合大甕農業協同組合である。昭和23年にそれぞれの町村の農業会の資産を受継いで誕生した。

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年 次		25	35	40	50	60	2
項 目	総 農 家 戸 数 (戸)	2,260	2,172	2,053	1,894	1,666	1,593
	うち 専 業 (戸)	1,282	1,035	532	102	131	130
	I 種兼業 (戸)	525	548	786	734	369	176
	II 種兼業 (戸)	453	589	740	1,058	1,166	1,287
	経 営 耕 地 面 積 (ha)	2,579	2,651	2,600	2,668	2,535	2,457
	うち 田 (ha)	1,769	1,767	1,785	2,045	2,006	1,989
	畑 (ha)	642	699	620	463	390	394
	樹 園 地 (ha)	167	185	189	161	138	74
	収 穫 面 積 (ha)	1,717	1,814	1,663	1,896	1,767	1,593
	稲 類 (ha)	355	316	186	2	23	56
	野 菜 類 (ha)	231	256	197	202	194	166
	うちきゅうり (ha)						
	果 実 類 (ha)	13	13	14	11	9	8
	飼 料 用 作 物 (ha)		56		107	125	229
	た ば こ (ha)	41	18	57	34	33	14
飼 育 頭 羽 数	乳 用 牛 (頭)	59	352	685	540	336	347
	肉 用 牛 (頭)	506	730	854	360	926	748
	豚 (頭)	471	771	1,978	3,335	2,583	2,103
	に わ と り (千羽)	4	9	12	16	10	2
	ブロイラー (千羽)			1	360	159	40

(注) ブロイラー 50年以降は出荷羽数

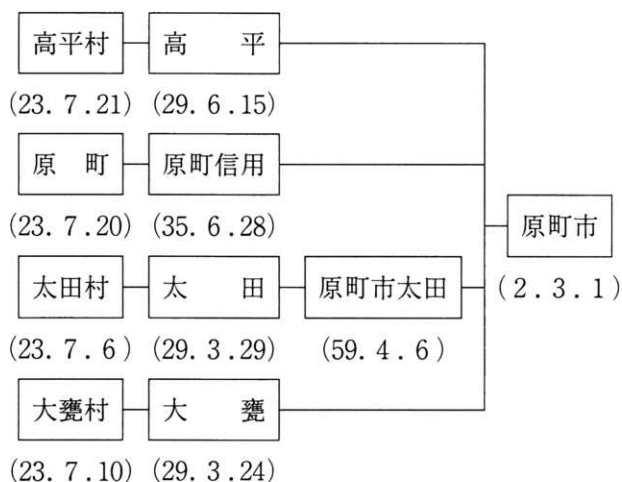
3 経営の推移

昭和20年代は、農業協同組合としての新しい制度が制定されると共に農地解放、食糧統制等が表面化した時代であった。農協の経営は発足したばかりで、自己資本の不足など多くの課題を抱え、原町農協が再建整備の指定を受けるなどの困難の時代であったが、大甕農協が農業倉庫を新築して優良農業倉庫として全販連会長賞を受賞もした。

昭和30年代に入り、社会的にも経済的にも戦後の困難からやや落ち着きを取り戻し、農畜産物の生産振興、貯金・貸付金の伸長、共済事業の開始、農機具サービスセンター開設等、事業全般に亘り飛躍した。共済事業においては、各農協が全共連の表彰を受賞した。

昭和40年代は、各農協それぞれ木造事務所を鉄筋コンクリートに改築し、ガソリンスタンドを開設、LPガス販売取扱を開始し、各事業全般に亘り順調に推移した。44年から自主流通米制度が実施となった。

図表3 合併等の経緯



図表2 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度			24	30	40	50	60	2 (合併年度)	5
項目									
正組合員戸数(戸)			1,055	2,186	2,180	2,121	1,859	1,901	1,907
准組合員戸数(戸)			4	477	792	1,248	1,350	1,301	1,334
資 産	余 裕 金		12,389	44,112	241,672	1,806,499	5,225,224	6,312,210	9,815,514
	貸 出 金		4,092	87,808	602,859	3,280,279	6,141,504	5,795,971	5,431,979
	その他流動資産		3,788	60,673	206,754	761,966	1,555,820	1,296,443	1,177,756
	固 定 資 産		2,238	13,623	48,541	219,559	357,777	490,351	564,983
	外 部 出 資		362	7,757	27,862	50,814	137,420	162,544	207,017
負 債 及 び 資 本	貯 借 入 金		23,728	148,288	808,623	4,729,531	10,116,977	11,189,637	14,677,133
	借 入 金		45	35,771	194,843	627,710	1,377,637	1,016,716	569,188
	そ の 他 負 債			13,369	65,859	554,067	1,406,595	1,257,990	1,353,988
	出 資 金		794	16,004	51,610	180,830	351,824	395,663	474,360
	積 立 金		22	502	3,462	17,479	111,849	161,498	113,000
主 な 事 業 実 績	剰 余 金		-61	39	3,291	9,500	52,863	36,015	9,580
	販 売 取 扱 高			316,389	744,019	2,501,501	3,368,123	1,750,036	2,297,412
	うち 米 穀			293,906	641,644	1,914,384	2,543,642	962,491	1,477,036
	青 果 物			2,369	8,324	63,461	299,035	318,136	386,961
	畜 産 物				82,747	510,738	511,115	469,409	433,415
購 買 取 扱 高	うち 生産資材			85,588	283,449	1,196,210	1,238,295	1,446,771	1,609,949
	生活資材			77,752	236,625	1,051,847	944,250	1,144,775	1,103,384
	生活資材			7,836	46,824	144,363	294,045	301,996	506,565
	長期共済保有高				1,375	14,291	87,554	79,718	142,289

(注) 合併以前の年度は合併参加農協の合計 24年度は資料不備のため原町農協、大甕農協を含まない

昭和50年代に入り、新農業構造改善事業実施により、水稻＋畜産＋蔬菜事業の取り組みを奨励し、特に蔬菜の春菊では県下一の実績となった。

から懸案であった生産性の高い農業の育成と生活防衛に寄与する経営基盤を確立するために新設合併をした。

4 農協の合併

農産物自由化・金融自由化が一段と強化される中、平成2年3月1日市内4農協が、兼ねて

図表4 合併参加農協の概要

組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
高 平	桑 折 董	1,228	13	23
原 町 信 用	湊 昭男	1,466	10	27
原町市太田	杉内清仁	758	11	23
大 甕	渡部孫市	953	12	24

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		39年	
7. 6	太田村農業協同組合発足	5.29	貯蓄優良 農林中金支店長表彰（原町）
7.10	大甕村農業協同組合発足	6.10	共済優績 全共連表彰（高平、大甕）
7.20	原町農業協同組合発足	6.12	共済優績 全共連表彰（高平、太田）
7.21	高平村農業協同組合発足	40年	
26年		7.	事務所移転（太田）
.	再建整備の指定（原町）	41年	
29年		9.	事務所新築（大甕）
3.20	原町、高平村、太田村、大甕村合併して原町市誕生	42年	
3.24	大甕農業協同組合と名称変更	11.	事務所新築（原町）
3.29	太田農業協同組合と名称変更	46年	
6.15	高平農業協同組合と名称変更	6. 7	共済優績 全共連表彰（大甕）
6.28	共済優績 全共連表彰（大甕）	48年	
31年		6.21	共済優績 全共連表彰（高平）
.	優良農業倉庫 全販連表彰（大甕）	56年	
32年		5.25	貯蓄優良 農林中金支店長表彰（高平）
11.30	農協大会で優良農協表彰受賞（高平）	57年	
33年		6. 5	共済優績 全共連表彰（高平）
.	優良集荷業者 食糧庁長官表彰（大甕）	58年	
35年		5.20	共済優績 全共連表彰（高平、太田）
6.28	原町信用農業協同組合と名称変更	59年	
6.30	共済優績 全共連表彰（太田）	4. 6	原町市太田農業協同組合と名称変更
36年		5.23	共済優績 全共連表彰（大甕）
6.27	共済優績 全共連表彰（大甕）	60年	
37年		5.23	共済優績 全共連表彰（大甕）
9.12	共済優績 全共連表彰（高平、太田）	61年	
38年		5.22	共済優績 全共連表彰（太田）
6. 6	共済優績 全共連表彰（原町）	10.	事務所新築（高平）
		62年	
		5.21	共済優績 全共連表彰（太田）

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
63年		2年	
5.19	共済優績 全共連表彰（高平、太田、大甕）	3.1	高平、原町信用、太田、大甕の4農協が合併して原町市農業協同組合発足
元年		3年	
5.18	共済優績 全共連表彰（高平）	5.27	系統利用優良 経済連表彰

Ⅳ 資 料

（平成5年度末現在）

1 組 合 員

（ ）は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
3,055 (1,907)	1	1,594 (1,334)	7	4,649 (3,241)	8

2 役員及び参事

代表理事組合長 桑 折 董	理事 金 沢 里四郎
常務理事 堀 内 榮 八	理事 新 川 福 巳
理事 高 田 重 利	理事 高 橋 一 美
理事 渡 部 孫 市	理事 村 上 靖 一
理事 箱 崎 俊 夫	理事 田 中 誠 一
理事 小 林 光 吉	理事 境 勝 明
理事 湊 昭 男	理事 内 藤 一
理事 大和田 寿 雄	代表監事 村 井 友 清
理事 青 田 光 彦	監事 鈴 木 操
理事 瀬 川 泰 彦	監事 鈴 木 俊 雄
理事 高 野 將 博	監事 大 内 武 雄
理事 村 田 恒 明	
理事 増 山 藤 雄	参事 木 幡 勝

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
67	30	97	7	2

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合長連絡協議会	佐々木 雄 司	46
婦人部連絡協議会	高 崎 勝 子	523
青年連盟	浜 須 弘 仲	90
友の会連絡協議会	神 谷 釗 二	1,347

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
養豚部会	二 股 重 雄	8
繁殖和牛部会	山 田 力	60
肉牛部会	小 沢 敏 男	5
春菊専門部会	草 野 茂	130
きゅうり専門部会	村 井 英 雄	15
ブロッコリー専門部会	鈴 木 文 雄	40
甘熟トマト専門部会	藤 田 勝 巳	16
ニラ専門部会	田 島 要 一	3
稲作部会	佐 藤 琢 磨	130
梨部会	山 田 昭 治	7
花木部会	岡和田 祐 一	6

6 主な施設

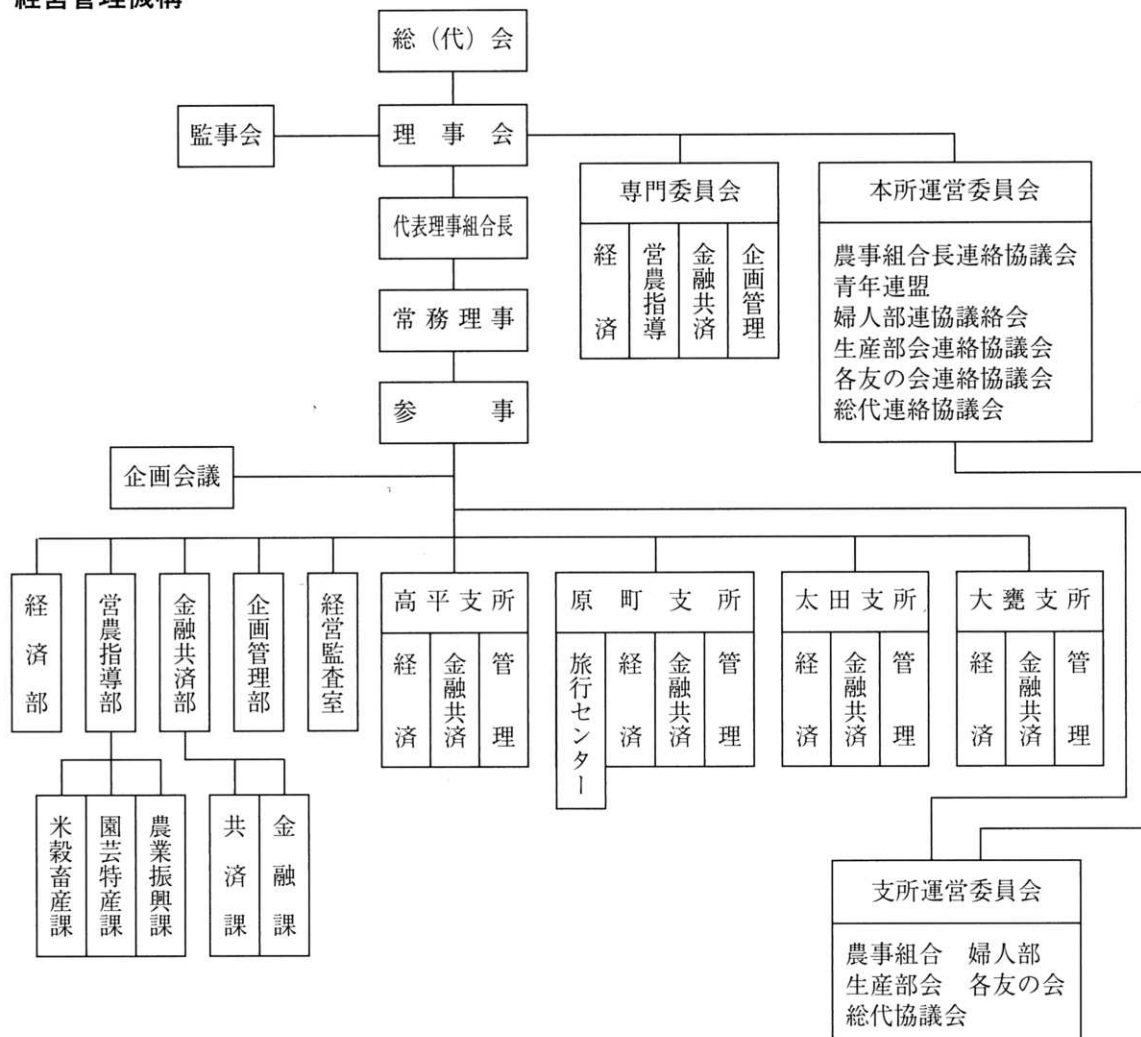
名 称	所 在 地
本所	錦町1丁目13
高平支所	下高平字雁明46-1
原町 〃	旭町2丁目50
太田 〃	益田字塩釜62
大甕 〃	大甕字十日迫4
農業倉庫	下高平字雁明46-1
〃	益田字塩釜62
〃	大甕字十日迫4
野菜集荷場	下北高平字貝餅287
〃	益田字塩釜62
野菜予冷施設	〃 〃
農産物加工所	〃 〃
水稻育苗センター	下高平字雁明46-1
購買品倉庫	下高平字雁明46-1
〃	旭町2丁目50
〃	益田字塩釜62
〃	大甕字十日迫4
購買店舗	下高平字雁明46-1
農機具修理場	益田字塩釜62
〃	大甕字十日迫4
総合地域施設	〃 〃

7 歴代組合長・常勤理事・参事

組 合 長		副 組 合 長	
2～	桑折 董	2～3	渡部 孫市
		2～3	湊 昭男
		2～3	杉内 清仁

常 務 理 事		参 事	
3～	堀内 榮八	3～	木幡 勝

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

高平農協

23～41	佐藤日出丸	44～44	星 利清
41～42	青田 悦郎	44～45	相良 重郎
42～44	佐藤日出丸	46～2	桑折 董

原町市太田農協

23～29	高江 克己	49～53	岡島 利
29～36	門馬 忠雄	53～62	打田 勝喜
36～49	大平 要	62～2	杉内 清仁

原町信用農協

23～23	志賀 求	50～51	神谷 釗二
23～27	佐藤 登	51～58	杉浦 一雄
27～36	大橋 友成	58～63	池田 十伍
36～50	青田 栄	63～2	湊 昭男

大甕農協

23～28	牛来 直	31～34	戸浪 俊忠
28～29	根本 重太	34～48	牛来 一
29～30	牛来 正延	48～54	木幡 寅夫
30～31	牛来 一	54～2	渡部 孫市